



農林中央金庫



人を、想う力。街を、想う力。

三菱地所

2020年5月29日

農林中央金庫

三菱地所株式会社

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

農林中央金庫（代表理事社長：奥和登）と、三菱地所株式会社（執行役社長：吉田淳一、以下「三菱地所」）は、国内不動産業界において初となるサステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）による金銭消費貸借契約（以下「本件ローン」）を締結いたしました。

SLL は、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、貸付条件を SPTs 達成状況に連動させることで、借り手に目標達成に向けた動機付けを促進し、環境・社会の面から持続可能な事業活動および成長を支援することを目指すものです。

三菱地所は、持続可能な社会の実現を目指した事業を推進するため、2050 年のサステナビリティ経営を見据えた「三菱地所グループのサステナビリティビジョン 2050」を制定し、2020 年 1 月に発表した「長期経営計画 2030」においても、このビジョンを達成するためのテーマとアクションを定めるマイルストーンとして、『三菱地所グループの Sustainable Development Goals 2030（以下「三菱地所グループの SDGs2030」）』を定め、気候変動問題に関しても具体的な数値目標を設定して取り組むこととしています。

また、農林中央金庫は、2019 年よりサステナブル経営をスタートさせるなか、三菱地所のサステナブル経営にかかる長期ビジョンの理念に共感し、本件ローンによる資金供給を通じ、環境・社会課題のうち、当金庫が重視している気候変動問題の解決に貢献するものと評価し、本件ローンの対応に至ることとなりました。

本件ローンでは、「三菱地所グループの SDGs2030」に基づく目標を踏まえて、CO2 排出量（2030 年時目標：2017 年比 35%削減）と再生可能電力比率（2030 年時目標：25%）を SPTs に設定いたしました。SLL は、資金用途を限定せずに事業資金として活用できることが特徴ですが、三菱地所ではこの資金の一部を再生可能電力の導入拡大や CO2 削減に寄与する取り組みにも活用する計画です。尚、本件ローンの契約締結にあたっては、SLL 原則への準拠性や、設定した SPTs の合理性について、株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得していません。

【本件ローンの概要】

- 実行日： 2020年5月29日
- 融資期間： 11年3か月
- 金額： 115億円
- 資金使途： 長期運転資金

【本件ローンが貢献する主な SDGs】



【大丸有 SDGsACT5 での連携について】

三菱地所と農林中央金庫は、大手町・丸の内・有楽町地区を舞台に、さまざまな企業が連携し、SDGs 活動を推進する「大丸有 SDGsACT5」に参加しており、企業の枠を超えて協業することで、幅広いテーマに対して街を挙げた SDGs への挑戦を目指しております。

大丸有 SDGsACT5 は 2020 年 5 月 11 日から 11 月までの 5 が月間にわたって、「サステナブルフード」「気候変動」「WELL-BEING」「ダイバーシティ」「コミュニケーション」の 5 つのテーマを設定し、継続的に展開するものです。

【参考リンク】

三菱地所グループのサステナビリティビジョン 2050、SDGs2030：

https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200205_sustainability%20vision%202050.pdf

大丸有 SDGsACT5：

https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2020/sdgs-act5.html

株式会社日本格付研究所による第三者意見：

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以上